

<別紙>

■ 懐徳堂記念会創立100周年記念事業について -----

1. 懐徳堂の史跡整備

- (1) 墓石修復 中井蕉園・履軒・碩果（誓願寺） (205万)
- (2) 懐徳堂史跡の説明板の設置 五井蘭洲（実相寺） (20万)

2. 記念出版

- (1) 阪大リーブルの刊行助成（大阪大学出版会）1冊 →『市民大学の誕生』（30万+2万）
- (2) 『懐徳堂記念会100年のあゆみ』資料調査 (10万)

3. 募金および新規会員の勧誘（30万）

- (1) 法人会員 既存会員への募金、新規法人会員の勧誘・募金
- (2) 個人会員

平成21年度予算支出合計 297万円

<参考>

1 懐徳堂記念会創立100周年記念事業の内容

I 懐徳堂の史跡整備（総額375万円）

- (1) 墓石修復
 - 五井蘭洲（実相寺）の墓石修復 →平成20年度執行済（100万円）
 - 中井蕉園・履軒・碩果（誓願寺）の墓石修復 →平成21年度予定（205万円）
- (2) 懐徳堂史跡の説明板の設置
 - 五井蘭洲（実相寺） →平成21年度予定（20万）
 - その他
- (3) HP 懐徳堂史跡マップの作成 →平成20年度執行済（50万円）

II 記念出版（総額800万円）

- (1) 『懐徳堂記念会100年のあゆみ』（A5版、ソフトカバー、182頁）1000部（500万円）
 - 第1部「懐徳堂記念会100年のあゆみ」 第2部「懐徳堂記念会のいま」
 - 第3部「懐徳堂記念会の未来へ向けて」
 - 印刷製本450万円 編集・執筆謝礼50万円
- (2) 阪大リーブルの刊行助成（大阪大学出版会）5冊（150万円）
 - ①墨の道 印の宇宙 ②懐徳堂ゆかりの絵画 ③漢学と洋学
 - ④江戸時代の親孝行 ⑤市民大学の誕生
 - ①④は平成20年度執行済（60万円） →⑤は平成21年度予定（30万円）
- (3) 会誌『懐徳』 「100周年記念シンポジウム」の特集号 →（60万円+通常経費90万円）

III 記念シンポ・資料展（総額570万円）

- (1) シンポジウム 平成22年11月27日（NHK大阪の共催） 於：NHK大阪ホール
総合探求：21世紀市民の「学びのかたち」
— 懐徳堂記念会のこれまでの100年とこれからの100年 —
共催：NHK、大阪大学(予定)（400万円）
- (2) 懐徳堂資料展 平成22年11月（予定） 於：大阪歴史博物館
大阪大学文学研究科の主催（0円）
- (3) 記念式典・祝賀会 平成22年11月27日 於：大阪大学中之島センター（90万円）
- (4) 春秋記念講座（100周年連動企画）→（0円）通常経費80万円
平成22年5月28～30日 / 11月14～16日 於：大阪大学中之島センター

IV 募金活動費 (総額 50 万円)

趣意書・振込用紙等印刷費、交通費、通信費ほか

支出合計 = 1 7 9 5 万円 (内 通常経費より 170 万円振替)

2 創立 100 周年記念事業の事業資金計画

(1) 募金収入	1400 万円 (募金目標額)
(2) 事業収入 (シンポ・レセプション参加費)	25 万円
(3) 共催団体からの支援 (見込み)	100 万円
(4) 基金取り崩し	100 万円
(5) 通常経費振替	170 万円

収入合計 = 1 7 9 5 万円

以上